

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1235号	氏名	川上 俊介
論文審査担当者		主査教授	丹羽 正美
		副査教授	関根 一郎
		副査教授	永安 武
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、消化管運動における GABA_B 受容体の機能を解析したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 生体（成犬）からのリアルタイムマイクロダイアリス法など高度な薬理学的手法および確立された分子細胞学的解析方法が用いられており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、犬小腸において、GABA_B 受容体はヘテロ二量体を形成し、機能的 GABA_B 受容体として消化管コリン作動性神経の活動を制御することが明らかになり、腸に作用する GABA_B 受容体関連薬の開発の進展がおおいに期待される。</p> <p>以上のように、本論文は消化管作用薬創薬へ貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			